

1. ERI の電子署名について

ERI が交付する書類や副本への付与する電子署名については、以下の電子証明書、タイムスタンプを採用しています。

① 電子証明書

日本 ERI の電子証明書は、電子署名法(電子署名及び認証業務に関する法律)に基づく特定認証業務の認定を取得したサービスから発行された電子証明書を使用しています。

サービスの名称	事業者
セコムパスポート for G-ID	セコムトラストシステムズ株式会社 http://www.secomtrust.net/service/ninsyo/forgid.html

② タイムスタンプ

日本 ERI で採用しているタイムスタンプは、一般財団法人日本データ通信協会の「タイムビジネス認定制度」の認定タイムスタンプサービスとなります。

サービスの名称	事業者
アマノタイムスタンプサービス 3161	アマノ株式会社 http://www.e-timing.ne.jp/tsa/service/summary.html

2. ERI の電子署名の確認方法

ERI の電子署名の内容を確認する方法として、以下の 2 つをご紹介します。

① 電子申請システム plus で確認する場合

電子証明書の所有者、組織名、タイムスタンプ日時、有効期限を記載しています。

The screenshot shows a file list with the following details for the highlighted file:

証明書の所有者名	組織名	タイムスタンプ日時	有効期限
Takehiro Shoji	組織名：日本 E R I 株式会社	2024-05-01 13:43:34	2024-09-15 23:59:59

3. 申請書等\24050076-1_1.確認申請書.pdf (1.45MB)

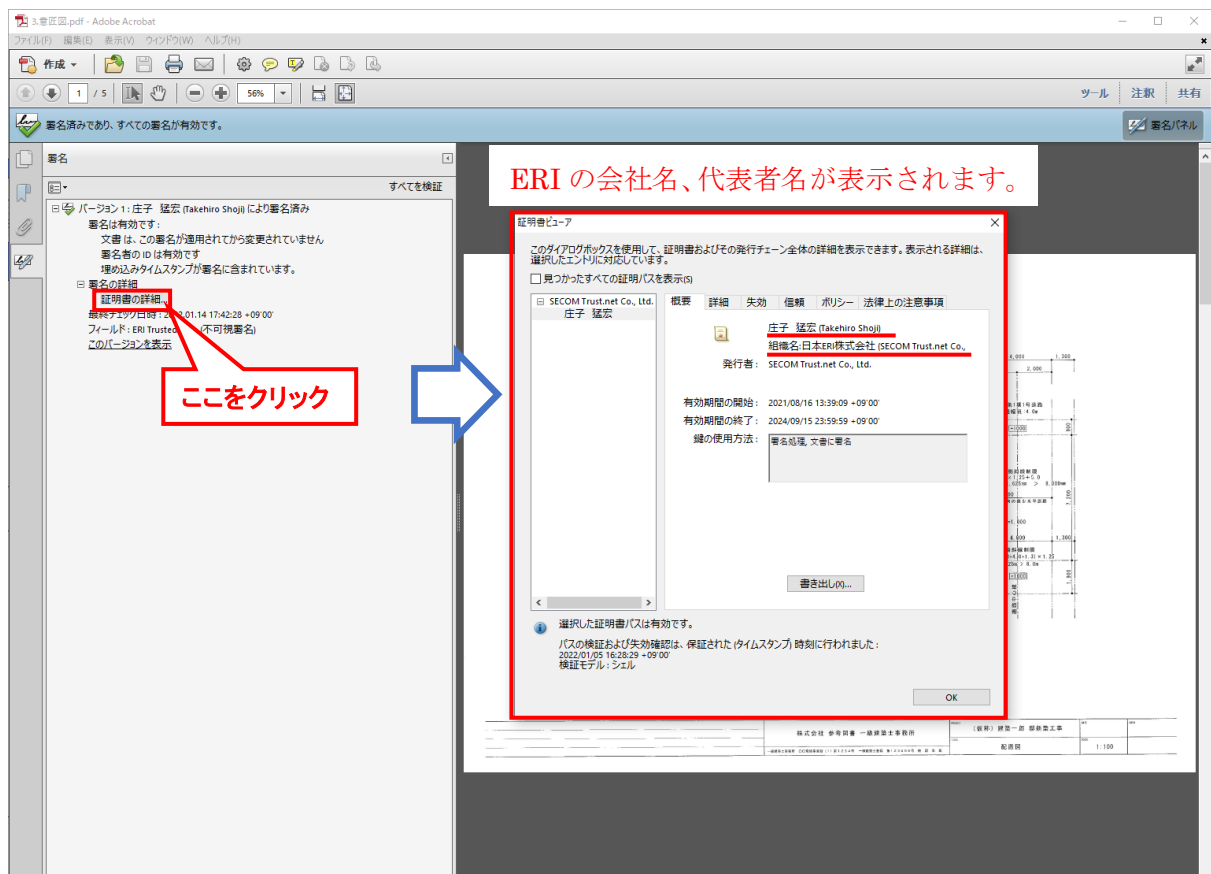
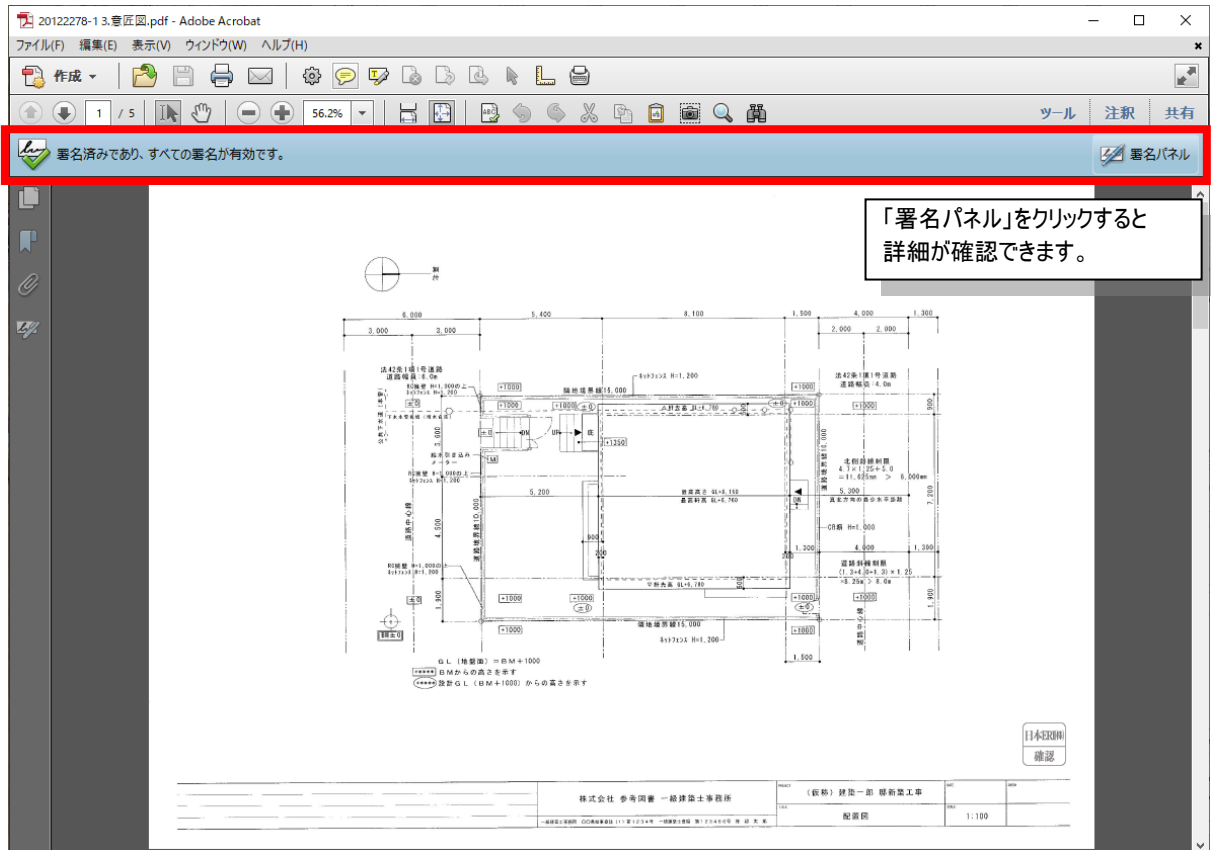
署名：✓ 有効

証明書の所有者名	組織名	タイムスタンプ日時	有効期限
Takehiro Shoji	組織名：日本 E R I 株式会社	2024-05-01 13:43:34	2024-09-15 23:59:59

ERI の会社名、代表者名を記載しています。

② Adobe Acrobat で確認する場合

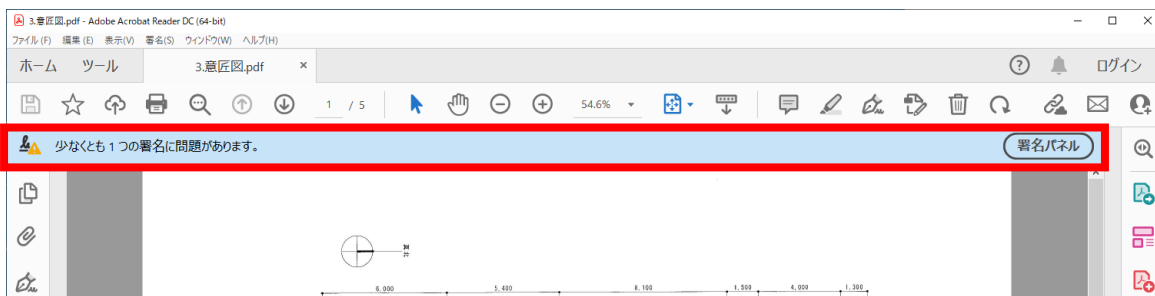
電子署名されたファイルを開くと、「署名パネル」が表示されます。



3. 署名に問題があると表示された場合の対応について

Adobe Acrobat で以下の表示が出る場合に対応していただく必要があります。

(電子署名が無効ではなく、確認できないことを表示しています。)



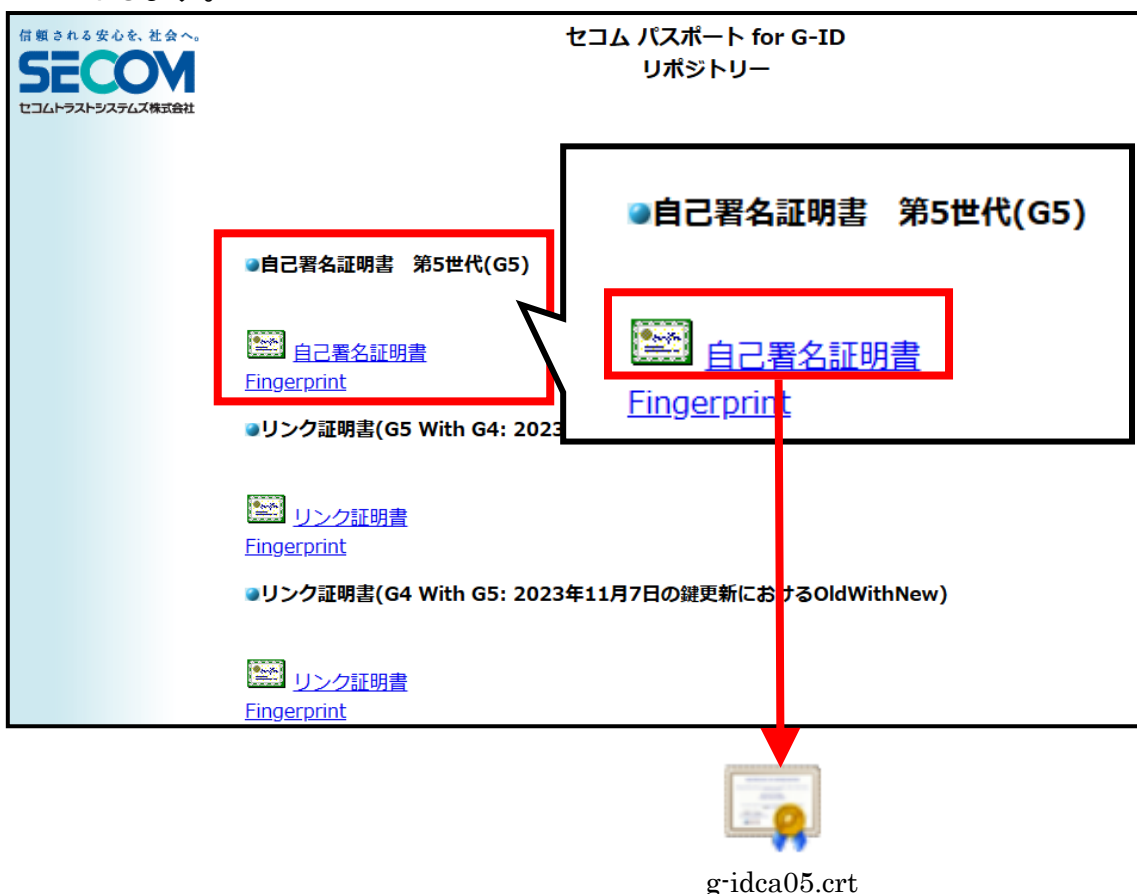
ERI が採用した電子証明書はセコムトラストシステムズ株式会社の「[セコムパスポート for G-ID](#)」
ですので、この自己署名証明書をインストールする必要があります。

以下、設定方法を記載します。(2024年9月時点の情報です。)

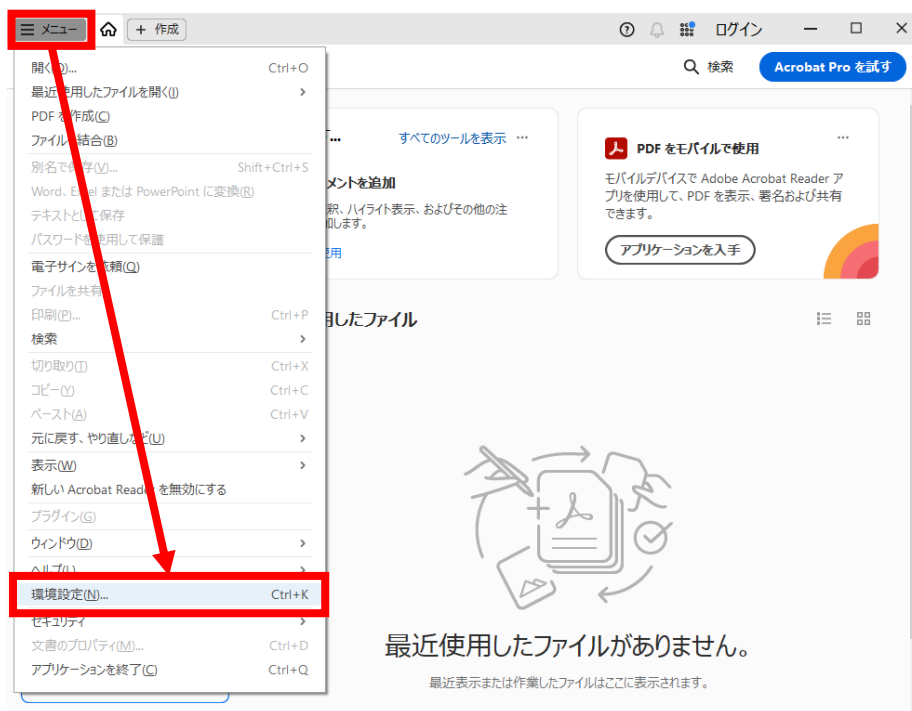
- ① セコムトラストシステムズ株式会社の「セコムパスポート for G-ID」のリポジトリにアクセスします。

アドレス <https://repository.secomtrust.net/PassportFor/G-ID/>

- ② 「自己署名証明書 第5世代(G5)」と「自己署名証明書 第4世代(G4)」をダウンロードします。



- ③ Adobe Acrobat Reader DC を起動し、[編集]→[環境設定]をクリックします。



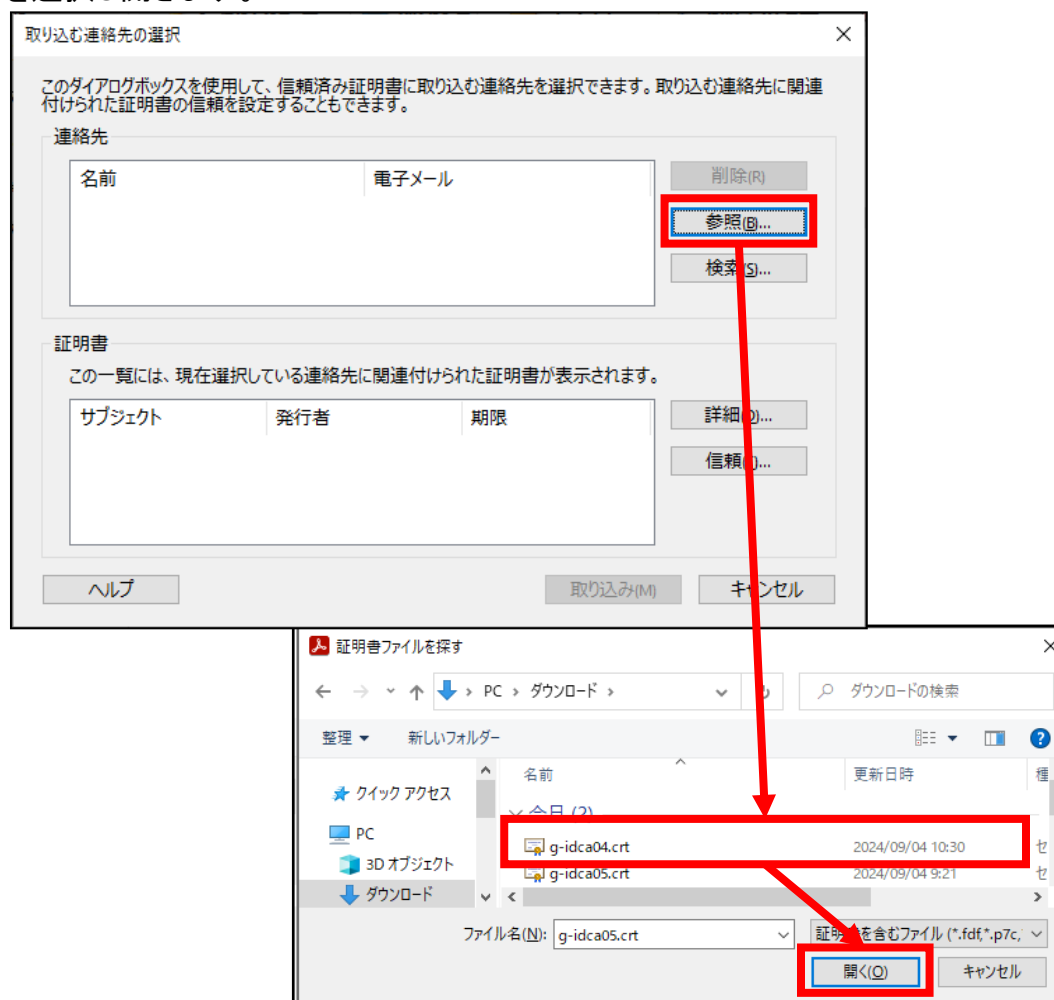
- ④ [環境設定]画面で、左側の分類から[署名]を選択し、右側の[ID と信頼済み証明書]の[詳細]ボタンをクリックします。



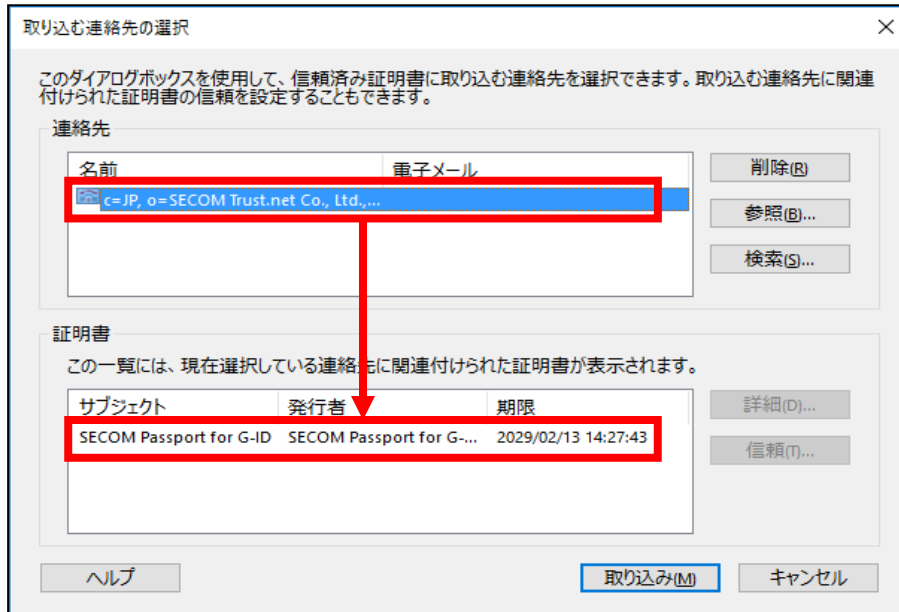
- ⑤ [デジタル ID と信頼済み証明書の設定]画面が表示されますので、左側の[信頼済み証明書]をクリックし、右側上部の[取り込み]をクリックします。



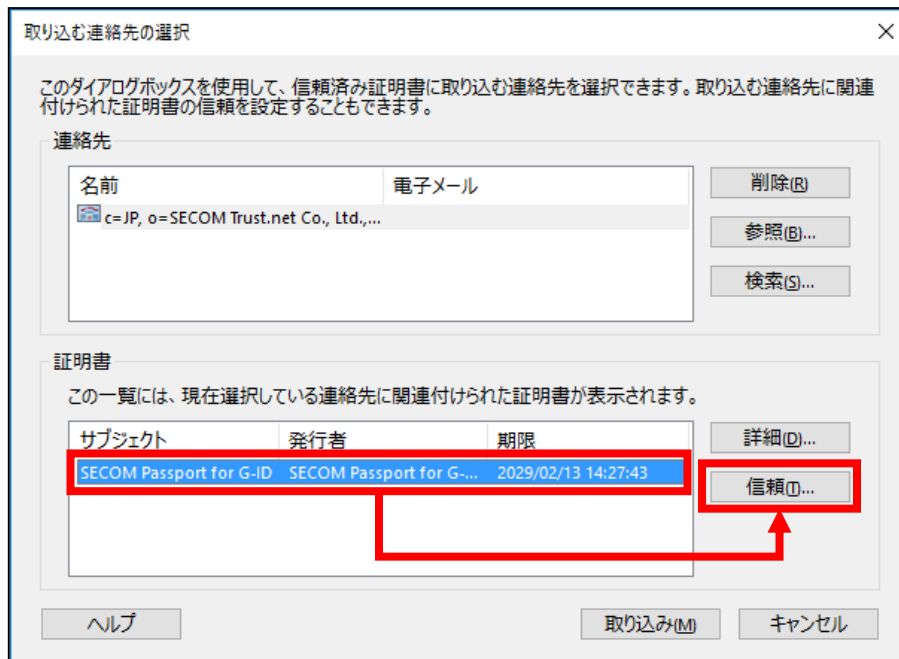
- ⑥ [取り込む連絡先の選択]画面が開きますので、[連絡先]枠内の[参照] ボタンから先程ダウンロードした「自己署名証明書 第 5 世代(G5)」のファイル[g-idca05.cer]を選択し開きます。



- ⑦ 上部[連絡先]枠内に追加されますので選択すると、下部[証明書]枠内に証明書が表示されます。



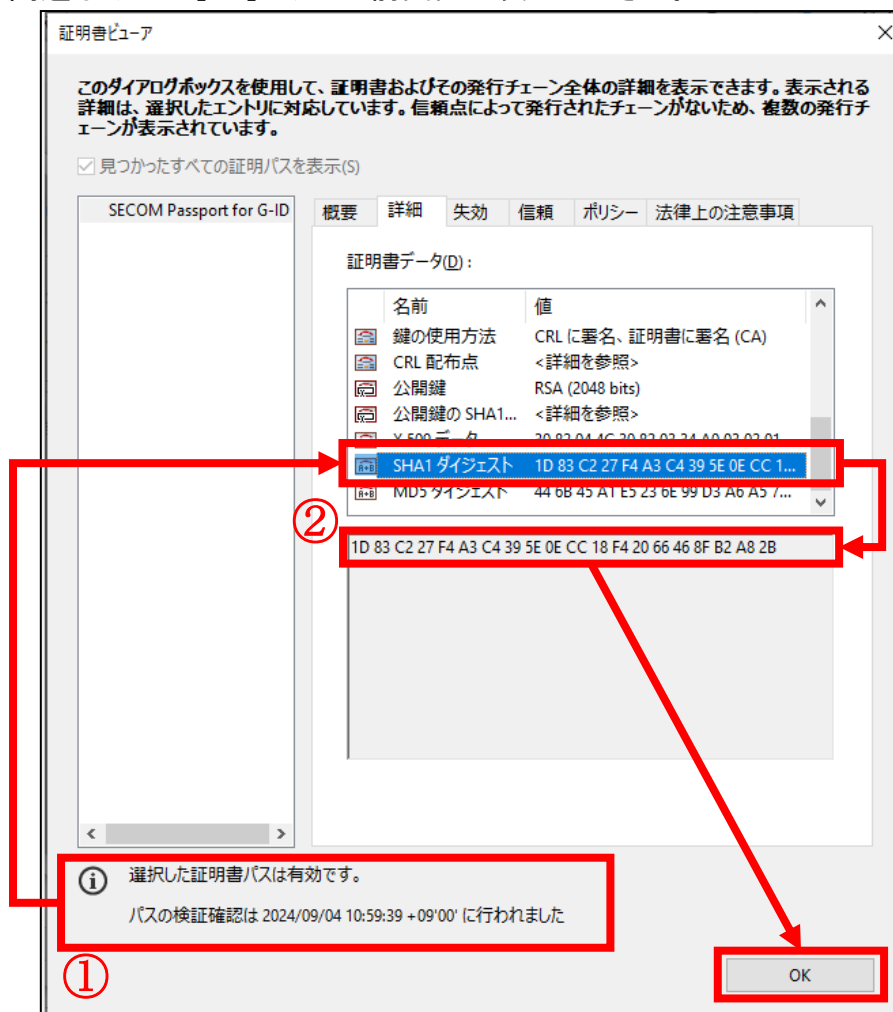
- ⑧ 下部[証明書]枠内の証明書を選択し、[信頼]ボタンをクリックします。



- ⑨ [連絡先設定を取り込み]画面が表示されますので、正しい証明書かどうか確認するため[証明書の詳細]ボタンをクリックします。



- ⑩ [証明書ビューア]画面が表示されますので、少なくとも以下の点をご確認ください。
問題なければ[OK]ボタンで前画面に戻って下さい。



【ポイント】下記について、ご確認ください。

- ②下部に「選択した署名パスは有効です。」と表示されていること。
- ②[詳細]タブ[証明書データ]枠内の[SHA1 ダイジェスト]をクリックし下枠内に
G5 の場合「1D 83 C2 27 F4 A3 C4 39 5E 0E CC 18 F4 20 66 46 8F B2 A8 2B」
G4 の場合「01 F7 62 28 82 B4 5F 83 98 DE B3 1F 52 78 EB 37 8A 0B 1B A1」
と表示されていること。

※ここではダウンロードしていただいた証明書が正しいものであるかどうかを確認しています。

- ⑪ [連絡先設定を取り込み]画面に戻りますので、[この証明書を信頼済みのルートとして使用]にチェックを入れ[OK]ボタンをクリックします。

連絡先設定を取り込み

証明書の詳細

サブジェクト: SECOM Passport for G-ID
発行者: SECOM Passport for G-ID
使用方法: 証明書に署名 (CA)、CRL に署名
有効期限: 2033/11/07 10:47:11

信頼

署名の検証が成功するには、文書の署名に使用される証明書が信頼点として指定されているか、信頼点までのチェーンである必要があります。信頼点およびそれより上の階層については失効確認は実行されません。

この証明書を信頼済みのルートとして使用(R)

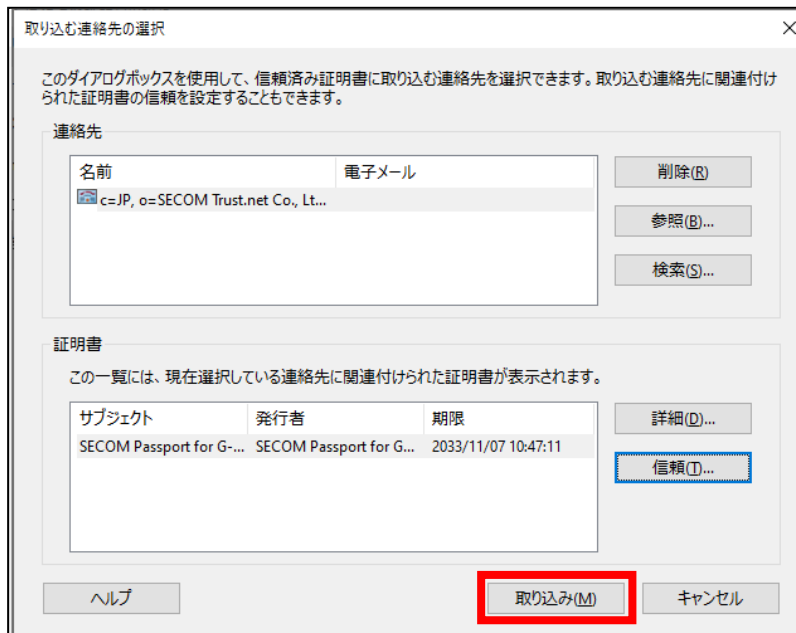
署名の検証に成功した場合、次の対象についてこの証明書を信頼します:

- 署名された文書またはデータ
- 証明済み文書(D)
 - ダイナミックコンテンツ(D)
 - 埋め込まれている特権の高い JavaScript(J)
 - 特権が必要なシステム操作 (ネットワーク、印刷、ファイルアクセスなど) (P)

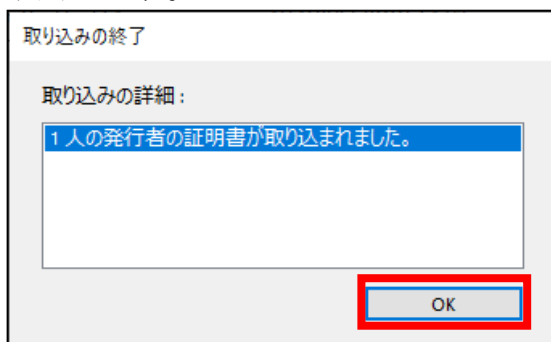
証明書の詳細(E)...

ヘルプ OK キャンセル

- ⑫ [取り込む連絡先の選択]画面に戻りますので、[取り込み]ボタンをクリックします。



- ⑬ 正常に取り込まれると下記の様な確認画面が表示されますので、[OK]ボタンをクリックします。



- ⑭ 以上です。取り込まれた証明書が表示されています。右上の[×]ボタンで閉じます。



同様に「自己署名証明書 第 4 世代 (G4)」も「取り込み」を行って下さい。

- ⑮ [環境設定]画面で[OK]ボタンをクリックし終了します。



- ⑯ 弊社署名済みの PDF ファイルを開くと正常に検証されます。

